

研究機関名：日本大学医学部附属板橋病院

臨床研究に関する情報公開

疫学研究および臨床研究に関する倫理指針に基づく情報公開について

<インフォームド・コンセントを受けない場合において、当該研究の実施について公開すべき事項に関する細則>に基づいて、下記のとおり情報を公開します。

<p><研究課題名> 超音波画像解析によるびまん性肝疾患、肝腫瘍診断の検討</p>
<p><研究期間> 承認日 ~ 西暦2017年12月31日</p>
<p><意義・目的> 画像検査は、通常人間の目によって病変の特徴を認識され、経験を踏まえた上で診断が下されます。近年、コンピュータ画像解析ソフトの改良が進み、びまん性肝疾患でも肝臓の腫瘍でも様々な特徴を測定することが可能となっています。今回、従来の超音波画像解析で用いられなかった手法を用いて各種肝疾患について、可能であれば病理組織と比較してその特徴を評価します。 この研究の成果として、画像解析による診断の能力の向上が期待されます。</p>
<p><方法> 1990年1月から2015年3月までに、当院消化器肝臓内科において、超音波検査を受けられた患者さんの血液検査（肝機能など）、画像検査（超音波、CT、MRIなど）、病理組織検査などのデータを使用して、超音波画像解析結果と病理組織との比較の研究を行います。 なお、本研究では、必要な情報のみを統計資料として集計します。患者さんのお名前や個人情報 が明らかになることはありませんのでご安心ください。</p>
<p>★本研究の対象となられる患者さんで本研究にご賛同いただけない方は、下記の<問い合わせ窓口>までご連絡ください。</p>
<p><問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院 東京都板橋区大谷口上町 30-1 担当：消化器肝臓内科 医員 松本 直樹 電話：03・3972-8111 内線：8095</p>

超音波画像解析によるびまん性肝疾患、肝腫瘍診断の検討

1. 研究の対象

1990年1月から2015年3月までに、当院消化器肝臓内科において、超音波検査を受けられた方。

2. 研究目的・方法

画像検査は、通常人間の目によって病変の特徴を認識され、経験を踏まえた上で診断が下されます。近年、コンピュータ画像解析ソフトの改良が進み、びまん性肝疾患でも肝臓の腫瘍でも様々な特徴を測定することが可能となっています。今回、従来の超音波画像解析で用いられなかった手法を用いて各種肝疾患について、可能であれば病理組織と比較してその特徴を評価します。

この研究の成果として、画像解析による診断の能力の向上が期待されます。

対象となる患者さんの血液検査(肝機能など)、画像検査(超音波、CT、MRI など)、病理組織検査などのデータを使用して、超音波画像解析結果と病理組織との比較の研究を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、画像、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

日本大学医学部附属板橋病院

東京都板橋区大谷口上町 30-1

担当：消化器肝臓内科 医員 松本 直樹 （研究代表者・研究責任者）

電話：03・3972－8111 内線：8095